【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公表番号】特表2011-524165(P2011-524165A)
【公表日】平成23年9月1日(2011.9.1)
【年通号数】公開・登録公報2011-035
【出願番号】特願2011-512453(P2011-512453)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　1/22　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/37　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　1/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　1/22　Ｚ
Ａ２３Ｌ　1/30　Ａ
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｐ　1/14
Ａ６１Ｋ　35/37
Ａ２３Ｋ　1/16　３０４Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成24年5月11日(2012.5.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの動物分解物及び少なくとも１つの界面活性剤を食用組成物の嗜好性の向上に有効な量で含む嗜好性向上剤。
【請求項２】
少なくとも１つの非イオン性界面活性剤を含む、請求項１に記載の嗜好性向上剤。
【請求項３】
前記非イオン性界面活性剤が、アルキルポリ（エチレンオキシド）、ポリ（エチレンオキシド）とポリ（プロピレンオキシド）とのコポリマー、アルキルグルコシド又はポリグルコシド、脂肪アルコール、コカミドモノエタノールアミン、コカミドジエタノールアミン又はコカミドトリエタノールアミン、レシチン誘導体、プロピレングリコール脂肪酸エステル、グリセリル脂肪酸エステル、ポリグリセリル脂肪酸エステル、ポリオキシエチレングリセリル脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビトール脂肪酸エステル、ポリエチレングリコール脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンヒマシ油又は水素化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンフィトステロール、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンアルキルエーテル、又はポリオキシエチレンラノリン、ラノリンアルコール若しくは蜜蝋誘導体を含む、請求項２に記載の嗜好性向上剤。
【請求項４】
非イオン性のポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステルを含む、請求項１に記載の

嗜好性向上剤。
【請求項５】
前記非イオン性界面活性剤がポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸モノオレエートである、請求項４に記載の嗜好性向上剤。
【請求項６】
前記動物分解物が、牛肉、豚肉、鳥肉、子羊肉、魚又はそれらの任意の組合せを含む、請求項１に記載の嗜好性向上剤。
【請求項７】
約０．０５％～１０％の界面活性剤及び約９０％～約９９．９５％の動物分解物を含む、請求項１に記載の嗜好性向上剤。
【請求項８】
食用の酸又は酸性化剤、甘味剤、食用脂肪、アミノ酸又はその誘導体又はその塩、塩、ヌクレオチド若しくはリボヌクレオチド又はその誘導体又はその塩のうち、１つ又は複数をさらに含む、請求項１に記載の嗜好性向上剤。
【請求項９】
前記食用の酸又は酸性化剤が、ギ酸、酢酸、クエン酸、プロピオン酸、乳酸、リンゴ酸、フマル酸、カプリン酸、カプロン酸、酪酸、ヘキサミン酸、酒石酸、グルコン酸、グルタミン酸、グルクロン酸、グアニル酸、イノシン酸、コウジ酸、イタコン酸、リン酸、重硫酸ナトリウム、ピロリン酸、トリポリリン酸、ヘキサポリリン酸、並びにその塩及び誘導体並びに前記の組合せのうち１つ又は複数を含む、請求項８に記載の嗜好性向上剤。
【請求項１０】
動物による摂取に適した１つ又は複数の成分と少なくとも１つの嗜好性向上剤とを含む食用組成物であって、前記嗜好性向上剤が、少なくとも１つの動物分解物及び少なくとも１つの界面活性剤を前記食用組成物の嗜好性の向上に有効な量で含む食用組成物。
【請求項１１】
前記嗜好性向上剤が、少なくとも１つの非イオン性界面活性剤を含む、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１２】
前記動物分解物が、牛肉、豚肉、鳥肉、子羊肉、魚又はそれらの任意の組合せを含む、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１３】
前記嗜好性向上剤が、約０．０５％～１０％の界面活性剤及び約９０％～約９９．９５％の動物分解物を含む、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１４】
約０．００１％～約９０％の嗜好性向上剤を含む、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１５】
食品組成物、栄養補助食品又は医薬である、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１６】
食用組成物を、少なくとも１つの動物分解物及び少なくとも１つの界面活性剤を含む有効量の嗜好性向上剤と組み合わせる工程を含む、食用組成物の嗜好性を向上させる方法。
【請求項１７】
前記界面活性剤が非イオン性界面活性剤である、請求項１６に記載の方法。
【請求項１８】
押出し工程をさらに含む、請求項１６に記載の方法であって、前記押出し工程は、前記組み合わせる工程の前、間又は同時に行う、請求項１６に記載の方法。
【請求項１９】
前記組み合わせる工程が前記嗜好性向上剤の局所施用を含む、請求項１６に記載の方法。
【請求項２０】
前記局所施用が吹付け又は粉末コーティングを含む、請求項１９に記載の方法。